

学力向上アクションプラン

1. 目標 **生き生きと学びあう児童の育成(学力向上をめざして)**

2. 目標設定の趣旨

昨年度末のCRTの学力調査によると、ほとんどの学年で全国平均を上回る結果を出している。これは、保護者の教育への関心の高さを背景に、これまでの学校の取り組みが反映した結果だと考えられる。ただ、個々に見ていくと、学力状況が厳しい子どもなど気になる子どもたちもいる。研究目標である「学びあう」集団をめざすことで、どの子ども伸びる学校にしたい。

3. アクションプラン

基礎学力テストの90%以上の合格
各種学習状況調査で全国平均以上をめざす

(1) **学びあう授業づくり** (研究推進部)

- ・全職員、年1回以上、学びあいを高めるための授業研究会を行う。
- ・毎週、特設タイム（スピーチタイム、リッスンタイム）を実施し、学びの基礎（聞く、話す）力を高める。

(2) **仲間づくり** (心の教育部)

- ・仲間づくりの授業を各学級20時間以上実施し、低・中・高で代表授業を行う。
- ・学びあう仲間づくりの一助として、QUアンケートを2回実施する。

(3) **習慣づくり** (生徒指導部)

- ・ **ニコ**ニコ笑顔で 元気なあいさつ (目標：玄関で80%)・・・生徒指導部
- ・ **キビ**キビ動いて 無言でそうじ (目標：80%)・・・生徒指導部
- ・ **ハキ**ハキ返事と やさしい言葉 (目標：80%)・・・心の教育部
- ・ **ドン**ドン読書で 100冊めざそう (目標：平均100冊)・・・図書教育
- ・ ノーテレビ・ノーゲームデーの実施 (目標：60%)・・・生徒指導部

4. 実施にあたって

○全校で一致して取り組む

- ・アクションプランを意識して、目標を立てる。(各部、自己目標)
- ・各部主任のリーダーシップで、全校の取り組みとする。
- ・少なくとも学期に1回は評価をし、定着に向けて意欲づけを図る。

○相知中校区での連携を深める

- ・11月15日 相知中校区「学力向上研究発表会」を開催する。
- ・一貫した指導のあり方を研究するため、「相知中の日」「相知小の日」「伊岐佐小の日」を実施する。

○家庭との連携を図る

- ・ノーテレビデー・ノーゲームデー(毎月1日)、生活習慣運動(学期に1回)に相知中校区で取り組む。